操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※ e - DATA MEMORY モード、アラームモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



※上図は時刻モード表示の一例です。

★モードアイコンの見方

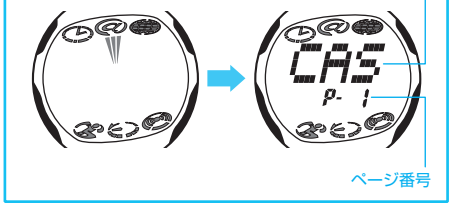
時刻モード	アラームモード
e - DATA MEMORYモード	タイマーモード
ワールドタイムモード	ストップウオッチモード

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

★表示切替について
時刻モードのとき、ⒹまたはⒷボタンを押すごとに表示内容が切り替わります（6パターン）。
* 表示切替について詳しくは「表示切替について」参照。

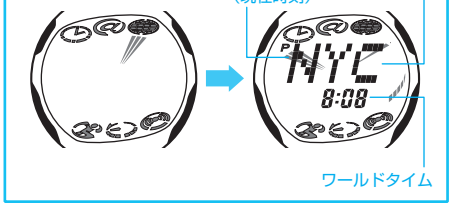
Ⓒ

e - DATA MEMORYモード



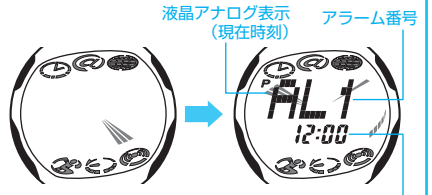
Ⓒ

ワールドタイムモード



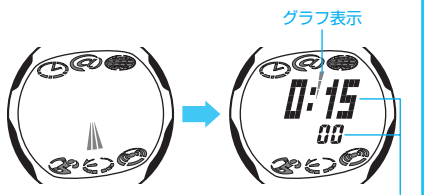
Ⓒ

アラームモード



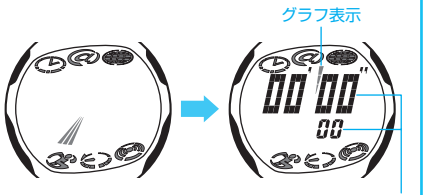
Ⓒ

タイマーモード



Ⓒ

ストップウオッチモード



Ⓒ

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。
（デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません）



●デモ表示の解除
Ⓛ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定
Ⓒ ボタンを約２～３秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

どのモードでも、Ⓛ ボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。



<ご注意>
●直射日光下では発光が見えにくくなります。
●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

表示切替について

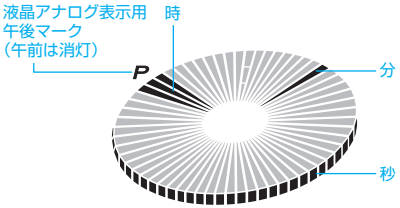
時刻モードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

➡時刻モードでは、お好きな表示を選ぶことができます（6パターン）。

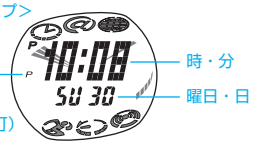
※時刻モードのときは、モードアイコン“ ”をアニメーション表示します。



★液晶アナログ表示の見方



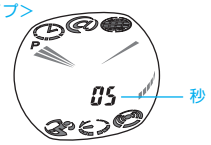
<Aタイプ>



<Bタイプ>



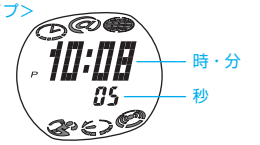
<Cタイプ>



<Dタイプ>



<Eタイプ>



<Fタイプ>



e-DATA MEMORYの使い方

Ⓒボタンを押して、e-DATA MEMORYモードにします。

e-DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1件あたり63文字のデータを入力した場合、5件まで記憶できます。
- 1件あたり7文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます。

※e-DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※e-DATA MEMORYモードのときは、モードアイコン“ ”をアニメーション表示します。

※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

* パスワード機能については「■パスワード機能について」参照。

■データのサーチ

e-DATA MEMORYモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



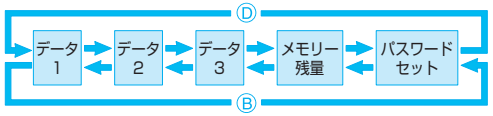
➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※データを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に“◀”マークがつきます）。Ⓐボタンを押すと表示が止まり、もう一度Ⓐボタンを押すと動きだします。

※データ入力をしたページとメモリー残量、パスワードセットのページを表示します。
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量“100%”とパスワードセットのページのみ表示します。

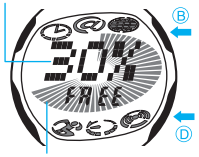
例）データを3件入力したとき



■データを入力する

(1)メモリー残量のページにする

e-DATA MEMORYモードのとき、Ⓓボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します



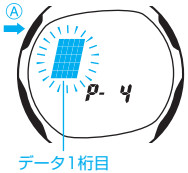
➡メモリー残量のページになります（右図）。

※“0%”と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

*「■データの修正／消去」参照。

(2)セット状態にする

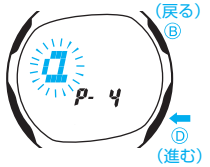
Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡データの1桁目が点滅します。

(3)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

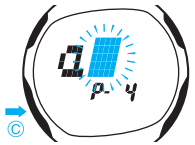


➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(4)セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡押すごとに点滅箇所が右に1つ移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力します

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　a～z
- 英大文字　A～Z
- 数字　0～9
- 記号　＊－＿@~ ／＼？＃！%.：；’，” ^ &＝＋ ()

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡“SET”表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

■データの修正／消去

(1) **Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます**

(2) **Ⓐ ボタンを約2秒間押します**

➡データの1桁目が点滅します。

(3)データを修正／消去する

★データ修正➡ Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。

★データ消去➡ Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。“CLR”表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) **修正／消去が終わりましたら、 Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます**

※ データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

■パスワード機能について

パスワード機能とは、４桁の番号を入れないとデータを呼び出せない機能です。
他人に見られたくないデータ保存に便利です。

●パスワードの登録

(1)パスワードセットのページにする

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



➡パスワードの１桁目が点滅します。
※もう一度 Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4)４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



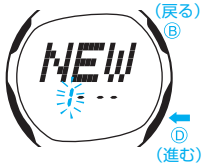
➡“SET”表示後、点滅が止まり、登録完了です。
※パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再びe- DATA MEMORYモードに戻ると、パスワード入力表示となります。

＜ご注意＞
●パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

(3)パスワードを入力する

a. 数字を入れる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

b. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します



➡点滅箇所が右に１つ移動します。
※数字を入力しないと桁を移動させることはできません。

a.～b.の操作を繰り返して、パスワードを入力します

※パスワードは４桁入力しないと登録されません。

●パスワードの入力

パスワードを登録すると、e - DATA MEMORYモードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。



＜パスワード入力表示＞
※パスワードを登録している場合

(1)パスワード入力表示のとき、

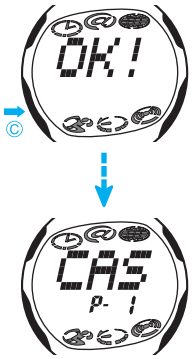
登録時と同様に、「●パスワードの登録」a.～b.の操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します



※数字を入力しないと桁を移動させることはできません。
※Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、入力を途中でやめることができます。

(2)４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



➡パスワードが合っているときは、“OK！”表示後、データを表示します。

➡パスワードが間違っているときは、“ERR”表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。

(3)新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、「●パスワードの登録」a.～b.の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します



※数字を入力しないと桁を移動させることはできません。

(4)４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



➡“SET”表示後、点滅が止まり、変更完了です。

●パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます。(パスワードを変更しても、データに影響はありません)

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1)パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



➡パスワードの１桁目が点滅します。
※もう一度 Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、変更を途中でやめることができます。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●パスワードの消去（パスワード機能の解除）

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1)パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



➡パスワードの１桁目が点滅します。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(3)パスワードを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します



➡“CLR”表示後、パスワードが消去されます。

ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

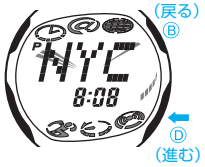
世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を知ることができる機能です。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。（「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡各都市の時刻を表示します。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

★表示の見方



※ワールドタイムモードのときは、モードアイコン“ ”をアニメーション表示します。
※液晶アナログ表示でホームタイム都市の現在時刻を表示します。
※都市コードのない地域は時差を表示します。

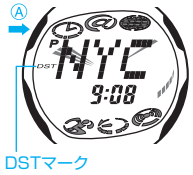
■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“GMT”表示のときはサマータイムの設定はできません。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	−11		JED	+3	ジェッダ
HNL	−10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	−9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	−8	ロサンゼルス	KBL	+4.5	カブール
DEN	−7	デンバー	KHI	+5	カラチ
CHI	−6	シカゴ	DEL	+5.5	デリー
NYC	−5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS	−4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
---	−2		HKG	+8	香港
---	−1		TYO	+9	東京
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0	ロンドン	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム			

※この表は2001年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時:UTC）を基準としたものです。
※都市コードのない地域「−−−」では時差を表示します。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

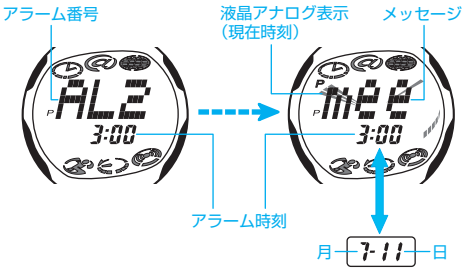
■アラームの使い方

●アラームについて

本機には、月・日・時・分とメッセージ（最大8文字）をセットできるアラームが5本あります。
（通常アラーム4本／スヌーズアラーム1本）

★通常アラーム（AL1～AL4）
設定した時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

★スヌーズアラーム（SNZ）
設定した時刻になると、20秒間電子音が鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。



※アラームモードのときは、モードアイコン“ ”をアニメーション表示します。
※液晶アナログ表示でホームタイム都市の現在時刻を表示します。
※メッセージを入力したときは、アラーム番号を表示後、メッセージを表示します。
※メッセージを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（メッセージの最後に“ ”マークがつきます）。
※月・日をセットしたときは、「アラーム時刻」と「月・日」が2秒ごとに切り替わって表示されます。

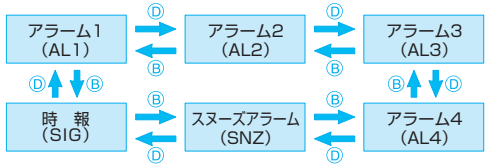
●アラーム時刻のセット

(1)アラームを選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



(2)セット状態にする

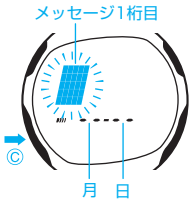
Ⓐ ボタンを約2秒間押します



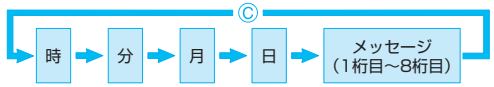
➡「時」が点滅します。
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。
※通常アラームのときは“ ”が、スヌーズアラームのときは“ ”と“SNZ”が点灯します。

(3)セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

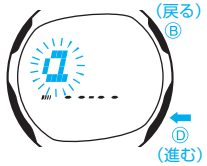


➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



(4)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字（文字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「月・日」をセットしないときは“−−”を表示させます。

(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。
※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らす➡「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らす➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす➡「月・日・時・分」全てセット

※メッセージは最大８文字まで入力できます。入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　ａ～ｚ
- 英大文字　Ａ～Ｚ
- 数字　０～９
- 記号　＊－＿@~ ／＼？＃！%.：；' ,” ^ &＝＋ ()

※表示が点滅しているとき、Ⓓ ボタンとⒷ ボタンを同時に押すと、メッセージが消去され、アラーム時刻が午前12：00（「時・分」のみセット）になります。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームのON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ またはⒷ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

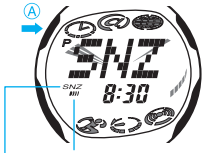
➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームのON／OFFが切り替わります。
※アラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。
※通常アラームのときは“))))”が、スヌーズアラームのときは“))))”と“SNZ”が点灯／消灯します。

<アラーム表示>



アラームマーク

<スヌーズアラーム表示>



アラームマーク
“SNZ”マーク

●設定した時刻の１時間前になると

設定した時刻の１時間前になると、時刻モードで全てのモードアイコンが点滅して知らせてくれます（プレアラーム機能）。

※プレアラーム機能は、設定した時刻まで継続します。
※いずれかのボタンを押すと点滅が止まり、プレアラーム機能が解除されます。
※Ⓒ・Ⓓ・Ⓛ ボタンを押した場合、プレアラーム機能の解除と同時に、各ボタン本来の機能も作動します。

Ⓒ＝モード切替
Ⓓ＝表示切替
Ⓛ＝ライト点灯

●設定した時刻になると

設定した時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。
※メッセージを入力したときは、設定した時刻になると、時刻モードで１分間メッセージを表示します（右図）。



<時刻モード>

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。
※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中は“SNZ”が点滅します）。
※「●アラームのON／OFF設定」の手順で“))))”と“SNZ”マークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

<ご注意>

●“SNZ”点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- 時刻モード、アラームモード（スヌーズアラーム表示）でセット状態に入る。
- ワールドタイムモードでホームタイム都市のサマータイムをONにした。

●基本時刻セット、スヌーズアラームセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、１回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■時報の使い方

●時報について

毎正時（00分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ またはⒷ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。
※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



時報マーク

タイマーの使い方

Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が15分で設定されています。
※タイマーモードのときは、モードアイコン“⏲”をアニメーション表示します。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

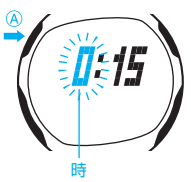
★オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1)セット状態にする

タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを約２秒間押します

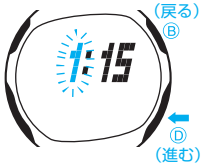
➡「時」が点滅します。



(2)「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

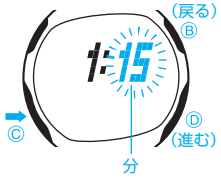
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ １分単位で24時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。



(3)「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

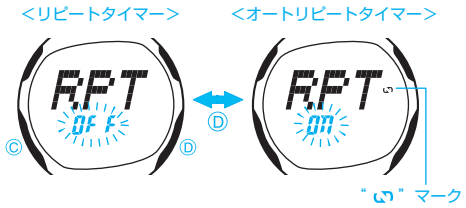
➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様にⒹまたはⒷボタンでセットします。



(4)タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON／OFFが切り替わります。
※ オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。



(5)セットを終わる

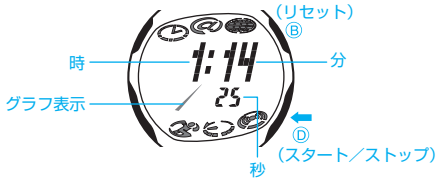
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。
※グラフ表示はタイマー時間の「秒」に連動して表示されます。



★計測ストップ後、Ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

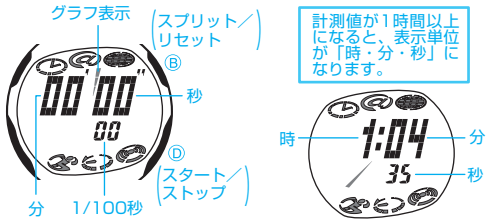
ストップウオッチの使い方　Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位（1時間以上になると1秒単位）で23時間59分59秒（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※ストップウオッチモードのときは、モードアイコン“”をアニメーション表示します。
※グラフ表示は計測値の「秒」に連動して表示されます。



計測値が1時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になります。

●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

★計測中にⒷ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL”マーク点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓑ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方　以下の操作は時刻モードで行ないます。

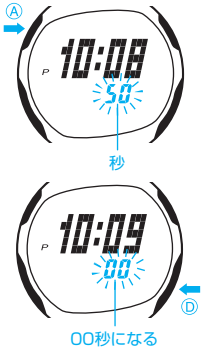
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) **時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）

(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2)サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ON または OFF が点滅します。

Ⓓ ボタンを押します

➡ON または OFF が切り替わります。



※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）
※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。（サマータイムについては「■サマータイム（DST）について」参照）

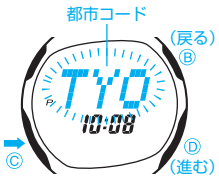
(3)ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

Ⓓまたは Ⓑボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（「■都市コード一覧」参照）
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

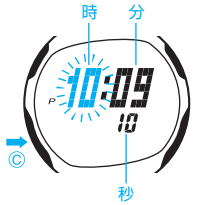


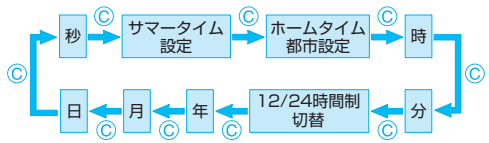
例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します

(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

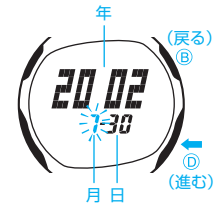
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓓまたは Ⓑボタンを押します**

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。
※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5)セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。